

平成23年度第1回国民健康保険運営協議会議事録

- 1 招集年月日 平成23年7月20日(水)
- 2 開催日時 平成23年8月24日(水) 14:00～
- 3 出席者氏名
 - (1) 運営協議会委員
 - ア 被保険者代表委員 (6名)
武内幸子、太田暹、大石紀代子、長尾由起子、森敏明、村上京子
 - イ 医療機関代表委員 (6名)
岩田定幸、山家滋、山地直樹、佐伯和道、藤田賢一郎、竹原令宜
 - ウ 公益代表委員 (5名)
迎由理男、平田健太郎、山田信一、添田重幸、上田曜子
 - エ 被用者保険代表委員 (2名)
時永正智、熊谷隆義 以上19名
 - (2) 事務局職員
 - 保健医療部長 工藤一成
 - 保険年金課長 小松美恵子
 - 健康推進課長 大庭千賀子
 - 他保険年金課、健康推進課職員
- 4 一般傍聴者 なし
報道関係 なし

◆審議内容（要旨）

議題1「平成22年度国民健康保険特別会計決算（見込み）」について

資料1～4ページ

【1】収支状況について

委員 2ページの単年度収支約47億円の赤字は、例年に比べて多いのか

事務局 国民健康保険は、医療費だけでなく後期高齢者医療への支援金や介護納付金などがあるため一概には言えないが、昨年度は平成20年度の前期高齢者交付金等の精算に係るもの（32億円）が主な要因となっている。なお、平成20年度の単年度収支は、約33億円の黒字となっている。これは、平成20年度から始まった前期高齢者交付金の概算交付額が大きかったことが主な理由と考える。

【2】前年度繰越金について

委員 1ページの繰越金の予算現額と収入済額の差が大きいのは例年のことなのか。

事務局 予算案は例年2月頃に最終決定されるが、収入済額は決算額であるので、最終的に調製するのは8月頃となる。平成22年度の予算編成時期には繰越金を約32億円計上したが、平成21年度の決算額が決定した結果、約53億円となった。

【3】保険料負担について

委員 北九州市は政令市の中で一世帯当たりの基準所得額が一番低いですが、保険料の負担を軽減するため、市の一般財源も入っているのか。

事務局 市の一般財源も活用し、被保険者の方々の保険料負担が過重になり過ぎないように配慮している。

【4】被保険者証について

委員 カードタイプの被保険者証について、私はラミネート加工をして使用しているが、送付されてきた時にハガキと一体になっており、そこからはがして使用することについて、分かりにくい。なぜ、このようになったのか。

事務局 カード化は法の改正により「準備の整った保険者」から順次導入するように定められた。被保険者証がカードタイプになることについては、すべての被保険者の方々にお渡ししている「国保のてびき」という冊子の中に掲載していた。また、医療機関にも協力していただき、病院等にポスターの掲示をした。

被保険者証の材質については、手では簡単に破れないようにし、水にも強くするなど工夫したが、「国保加入者約27万人分を年1回、一括印刷が必要なこと」「転入、退職、出生など保険証を窓口で交付しているが、区役所で随時印刷し、速やかに被保険者に渡す必要があること」など機械の制約があり、今回の材質を選択した。今後も、工夫できることがないか検討していく。

委員 できれば、もう少し厚手の紙で作成してもらえたらと思う。

会長 本議題について、承認としてよろしいか。

委員 (異議なし)

.....

報告「平成22年度特定健康診査・特定保健指導の実績(見込み)」について

資料5ページ

【1】特定保健指導実施率について

委員 特定健診の受診率27.9%は19政令市中6位ということは分かったが、特定保健指導実施率の49.8%は19政令市中何位なのか。

事務局 平成21年度の特定保健指導実施率は相模原市につづき第2位となっている。

委員 平成22年度の見込みは出ていないのか。

事務局 平成22年度の見込みは他都市の集計がまだできておらず、順位等は現時点ではお示しできない。

委員 良い結果を報告してもらいたい。特定健診・特定保健指導はいずれも生活習慣病に係る医療費の自然増をなんとか減らそうと国家的努力の一環として行われているので、成果としてどのくらい自然増の医療費を抑制できたのか近い将来見えてくると思うので、是非そういったこともアピールしてもらいたい。

【2】特定健康診査の受診率について

委員 特定健康診査の受診率がそんなに年々伸びていないが、その理由の把握等をしているのか。

事務局 受診率は全体に対して4分の1強というところなので、決して高いわけではないが、伸び率については政令市の中で高い方にある。どこの自治体も急激に右肩上がりに受診率が伸びるという決定的な打つ手は、なかなか難しいと思っている。受診率の高い自治体に学べということを議会等でも言われるが、受診率向上に向けて資料に掲載している内容以外に特段変わったことをしている自治体はない。長年かけて地道な保健指導等により、自分の健康は自分で守るといった意識が根付いているところは受診率が高い。本市はアンケート調査結果等から見ると、一次予防という観点で健康診断に行こうという発想がなかなか持ちにくいという結果が出ている。

委員 市としては年度計画で毎年度10%受診率を高めていくという計画があるが、実績受診率との差が生まれる理由は。

事務局 目標数値に関しては、5年間の全国的な目標値のゴールが特定健診については65%となっている。ポスター掲示等の従来から行っていることと並行しながら、地域住民間での誘い合いが非常に有効であり、一度そういった状況ができると毎年健診の受診が定例化していくことが分かってきたので、地域ボランティアの方々にも協力していただきながら、きめ細かくやっていく必要があると思い、そういったところにも力を入れていこうとしている。

会長 受診目標に届かなかった場合の財政的なペナルティはどうなるのか。

事務局 後期高齢者支援金に対するペナルティについて国が議論を行っているので、具体的な内容については国の情報に留意している。

【3】健康マイレージ事業について

委員 健康マイレージ事業は、どれくらいの普及率なのか。

事務局 健康マイレージ事業の参加人数に代えて申し上げますと、開始初年度の平成21年度が4,500名程度であった。平成22年度で概ね7,000名という状況である。ちなみに、事業を登録し、そこに参加していただいた方に応募していただくという仕組みであるため、仕組みが複雑であるが、平成21年度は1,000事業が対象であったが、平成22年度は1,600を超える事業が対象となった。今年度の対象事業としては平成22年度を超えるペースで登録していただいているので、昨年度以上の方に参加いただけるのではないかと推測している。

平成23年度 第1回
北九州市国民健康保険運営協議会

(議題)

平成22年度 国民健康保険特別会計決算(見込み)について

(報告)

平成22年度 特定健康診査・特定保健指導の実績(見込み)について

日 時 平成23年8月24日(水) 14時00分～
場 所 ホテルクラウンパレス小倉 2階 香梅

平成22年度 国民健康保険特別会計決算（見込み）

1 被保険者数及び世帯数

（単位：人、世帯）

区 分	予 算 (A)	実 績 (B)	増 減 (B) - (A)	前年度決算 (C)	前年度比較 (B) / (C)
一 般	[79,400] 254,000	[81,611] 251,732	[2,211] △ 2,268	[81,401] 254,383	99.0%
退 職 者	[11,100] 12,000	[12,248] 13,213	[1,148] 1,213	[11,867] 12,877	102.6%
計	[90,500] 266,000	[93,859] 264,945	[3,359] △ 1,055	[93,268] 267,260	99.1%
世 帯 数	160,000	160,701	701	161,373	99.6%

※〔 〕内は、介護保険第2号被保険者数（再掲）

2 歳 入

（単位：千円）

区 分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	増 減 (B) - (A)	前年度決算 (C)	前年度比較 (B) / (C)
国民健康保険料	18,493,584	17,589,408	△ 904,176	18,342,822	95.9%
国民健康保険料	17,176,068	16,222,661	△ 953,407	16,917,054	95.9%
退職者被保険者等 国民健康保険料	1,317,516	1,366,747	49,231	1,425,768	95.9%
国 庫 支 出 金	34,755,453	32,053,494	△ 2,701,959	27,903,064	114.9%
療養給付費交付金	5,025,188	5,652,697	627,509	4,502,694	125.5%
前期高齢者交付金	21,842,443	21,921,928	79,485	29,293,136	74.8%
県 支 出 金	5,117,168	5,191,397	74,229	4,600,076	112.9%
共 同 事 業 交 付 金	14,580,847	14,832,172	251,325	13,357,017	111.0%
繰 入 金	10,631,000	10,424,000	△ 207,000	11,106,941	93.9%
繰 越 金	3,229,000	5,326,936	2,097,936	6,809,769	78.2%
そ の 他	234,767	202,363	△ 32,404	251,891	80.3%
歳 入 合 計	113,909,450	113,194,395	△ 715,055	116,167,411	97.4%

3 歳 出

(単位：千円)

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	不用額 (A) - (B)	前年度決算 (C)	前年度比較 (B) / (C)
総 務 費	2,051,964	1,849,673	202,291	1,766,495	104.7%
保 険 給 付 費	79,914,701	79,641,157	273,544	77,836,836	102.3%
一般被保険者等 療養給付費	74,324,643	74,053,908	270,735	72,614,609	102.0%
退職者被保険者等 療養給付費	4,719,358	4,717,891	1,467	4,399,307	107.2%
審査支払手数料	245,700	244,971	729	247,319	99.1%
出産育児一時金	567,000	566,386	614	514,881	110.0%
葬 祭 費	58,000	58,000	0	60,720	95.5%
後期高齢者支援金	10,764,549	10,756,886	7,663	11,608,454	92.7%
前期高齢者納付金	20,703	18,701	2,002	33,007	56.7%
老人保健拠出金	167,577	167,425	152	1,107,863	15.1%
介護納付金	4,455,050	4,439,875	15,175	3,986,131	111.4%
共同事業拠出金	14,757,508	14,443,284	314,224	13,532,255	106.7%
保健事業費	1,011,569	743,116	268,453	718,454	103.4%
そ の 他	765,829	543,599	222,230	250,979	216.6%
歳 出 合 計	113,909,450	112,603,716	1,305,734	110,840,475	101.6%

(注) 金額は各項目を四捨五入しているため、合計額に一致しない場合がある。

4 収支状況

歳入総額 113,194,395千円 - 歳出総額 112,603,716千円 = 実質(形式)収支 590,679千円

単年度収支=590,679千円 - 5,326,936千円(前年度実質収支) = △4,736,257千円

平成22年度単年度収支の主な事由

- ① 予算上、前年度繰越額を約32.3億円計上したため。
- ② 国庫支出金の収入未済

5 保険料収納率(現年度賦課分)

区 分	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
全 体 分	94.03%	94.03%	91.97%	91.50%	91.72%
(対前年度比)	(1.02%)	(0.00%)	(△2.06%)	(△0.47%)	(0.22%)
うち一般分	92.23%	92.04%	91.47%	91.04%	91.29%
(対前年度比)	(1.13%)	(△0.19%)	(△0.57%)	(△0.43%)	(0.25%)

国民健康保険医療費の推移（北九州市）

※上段：医療費総額 中段：1人当たり医療費 下段：被保険者数

区分	平成17年度	前年度比	平成18年度	前年度比	平成19年度	前年度比	平成20年度	前年度比	平成21年度	前年度比	平成22年度	前年度比
一 般	55,953,389 千円	105.17%	55,930,967 千円	99.96%	58,073,604 千円	103.83%	85,516,595 千円	147.26%	88,814,396 千円	103.86%	90,118,794 千円	101.47%
	277,218 円	105.16%	282,256 円	101.82%	297,610 円	105.44%	342,005 円	114.92%	349,137 円	102.09%	357,995 円	102.54%
	201,839 人	100.00%	198,157 人	98.18%	195,133 人	98.47%	250,045 人	128.14%	254,383 人	101.73%	251,732 人	98.96%
老人保健	108,973,368 千円	101.91%	107,022,987 千円	98.21%	108,288,265 千円	101.18%	- 千円	-	- 千円	-	- 千円	-
	1,039,366 円	105.54%	1,060,968 円	102.08%	1,112,795 円	104.88%	- 円	-	- 円	-	- 円	-
	104,846 人	96.56%	100,873 人	96.21%	97,312 人	96.47%	- 人	-	- 人	-	- 人	-
小 計	164,926,757 千円	102.99%	162,953,954 千円	98.80%	166,361,869 千円	102.09%	- 千円	-	- 千円	-	- 千円	-
	537,772 円	104.24%	544,942 円	101.33%	568,865 円	104.39%	- 円	-	- 円	-	- 円	-
	306,685 人	98.80%	299,030 人	97.50%	292,445 人	97.80%	- 人	-	- 人	-	- 人	-
退 職	30,445,018 千円	116.69%	33,309,384 千円	109.41%	36,403,730 千円	109.29%	8,323,096 千円	22.86%	5,519,328 千円	66.31%	5,823,952 千円	105.52%
	445,911 円	107.86%	443,646 円	99.49%	462,999 円	104.36%	418,078 円	90.30%	428,619 円	102.52%	440,774 円	102.84%
	68,276 人	108.19%	75,081 人	109.97%	78,626 人	104.72%	19,908 人	25.32%	12,877 人	64.68%	13,213 人	102.61%
老人保健 除く 合 計	86,398,407 千円	108.96%	89,240,351 千円	103.29%	94,477,334 千円	105.87%	93,839,691 千円	99.33%	94,333,724 千円	100.53%	95,942,746 千円	101.71%
	319,858 円	106.87%	326,603 円	102.11%	345,111 円	105.67%	347,615 円	100.73%	352,966 円	101.54%	362,123 円	102.59%
	270,115 人	101.95%	273,238 人	101.16%	273,759 人	100.19%	269,953 人	98.61%	267,260 人	99.00%	264,945 人	99.13%

平成22年度 国保特別会計決算 政令市比較 (速報値)

区 分		札幌市	仙台市	さいたま市	千葉市	川崎市	横浜市	相模原市	新潟市	静岡市	浜松市	名古屋市	京都市	大阪市	堺市	神戸市	岡山市	広島市	福岡市	北九州市																		
被保険者数 (年間平均)	一般被保険者	435,651	-	297,076	257,008	345,715	900,193	203,574	192,917	193,143	206,044	583,319	352,773	791,729	231,093	380,766	157,496	270,628	344,844	251,732																		
		16	94.3%	3	96.4%	2	96.4%	1	96.9%	6	95.7%	5	95.7%	13	94.7%	10	95.4%	14	94.5%	4	95.9%	9	95.5%	7	95.7%	15	94.5%	12	95.0%	17	93.6%	18	93.4%	8	95.6%	11	95.0%	
	(人)	26,200	-	11,245	9,850	11,160	40,828	9,115	10,797	9,391	11,910	25,124	16,631	35,914	13,450	20,033	10,792	18,997	15,798	13,213																		
口内は構成比	退職被保険者	3	5.7%	17	3.6%	16	3.7%	18	3.1%	13	4.3%	14	4.3%	6	5.3%	9	4.6%	5	5.5%	15	4.1%	10	4.5%	12	4.3%	4	5.5%	7	5.0%	2	6.4%	1	6.6%	11	4.4%	8	5.0%	
	総 数	461,851	0	308,321	266,858	356,875	941,021	212,689	203,714	202,534	217,954	608,443	369,404	827,643	244,543	400,799	168,288	289,625	360,642	264,945																		
1人当たり	一般	3	327,535	-	15	269,461	18	258,405	16	268,632	14	276,529	17	263,843	8	304,443	11	284,035	12	282,481	13	279,146	9	304,205	7	305,652	5	321,632	6	315,213	4	323,544	1	359,178	10	291,771	2	357,995
	退職被保険者	1	445,665	-	12	394,923	17	354,477	4	427,487	15	375,432	14	384,180	7	421,041	18	341,771	16	371,807	9	407,774	10	398,256	8	415,949	11	397,089	13	387,901	5	424,730	3	431,535	6	421,216	2	440,774
	(円) 被保険者平均	3	334,237	-	15	274,037	18	261,951	16	273,599	14	280,820	17	269,000	7	310,623	12	286,712	11	287,362	13	284,457	9	308,439	8	310,438	5	325,782	6	318,846	4	330,033	1	363,924	10	297,441	2	362,123
保 險 料	一般	13	84,308	-	2	98,936	14	83,404	3	96,095	6	91,465	9	90,431	12	86,672	8	90,446	1	101,992	4	95,665	15	83,131	17	79,617	5	93,876	16	81,866	7	90,808	10	88,547	11	87,696	18	68,532
	退職被保険者	14	122,967	-	1	162,096	9	131,645	2	149,964	4	136,835	6	133,729	13	125,493	16	121,168	3	144,836	5	134,963	12	126,961	17	109,569	8	131,817	10	130,689	11	127,847	15	122,829	7	132,928	18	104,483
	(円) 被保険者平均	13	86,501	-	2	101,240	14	85,185	3	97,780	6	93,433	8	92,287	12	88,729	9	91,871	1	104,333	4	97,287	15	85,104	17	80,917	5	95,962	16	84,307	7	93,183	10	90,796	11	89,677	18	70,325
保 險 料	全 体	8	88.50	-	17	85.31	16	85.65	11	87.26	10	87.50	15	86.07	6	89.89	7	88.60	9	87.70	1	92.67	3	91.05	18	84.87	5	90.22	4	90.73	14	86.38	12	86.83	13	86.41	2	91.72
	一 般	8	87.74	-	17	84.69	16	85.15	11	86.82	10	86.92	15	85.44	6	89.44	7	88.14	9	87.01	1	92.36	3	90.67	18	84.26	5	89.69	4	90.23	14	85.53	12	86.07	13	85.79	2	91.29
1人当たり繰入金(円)	3	42,717	-	10	37,303	18	17,293	7	38,760	13	34,945	12	34,955	11	36,408	16	24,938	17	23,662	6	39,544	5	40,987	1	54,556	14	34,883	9	38,036	8	38,142	15	30,468	2	50,454	4	41,409	
1世帯当たり基準所得額(千円)	17	788	-	3	1,439	8	1,285	1	1,587	2	1,531	4	1,432	10	976	7	1,286	6	1,315	5	1,338	15	908	16	831	12	948	14	927	11	957	9	1,133	13	929	18	731	

※ 欄中、太字の数字(1~18)は政令指定都市の順位(高い順)。1人当たり繰入金=繰入金総額/一般被保険者数(退職被保険者を除く)。

特定健診・特定保健指導について

1 特定健診実施体制（平成22年度）

(1) 対象者 北九州市国民健康保険の40歳～74歳

(2) 実施方法

①個別方式：北九州市医師会加入の協力医療機関（約500機関）

②集団方式：区役所や市民センター等（309ヶ所）

(3) 実施時期；4月～3月（5月上旬までに対象者約18万7千人に受診券送付）

2 特定保健指導実施体制

(1) 実施方法

①個別方式：特定健診を受診した個別医療機関で実施

②集団方式：特定健診を受診した集団健診実施機関で実施

3 目標値（北九州市国民健康保険特定健康診査等実施計画に基づく）

項目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
受診率	25%	35%	45%	55%	65%
保健指導実施率	45%	45%	45%	45%	45%

* 国の基本指針における平成24年度の特定健診受診率の目標値は65%である。

4 平成22年度実施状況（平成23年3月末現在）

(1) 特定健診受診率；27.9%（受診者 49,666人）（暫定値）

* 政令指定都市の中で受診率6位/19都市（2.3ポイント増）（暫定値）

(2) 特定保健指導対象者状況

保健指導	人数(人)	割合(%)
動機づけ支援	5,324	10.7
積極的支援	1,825	3.7
情報提供	42,580	85.7

平成21年度特定保健指導実施率 49.8%（法定報告）

* 特定保健指導対象者以外で生活習慣病予防及び重症化予防が必要な人への保健指導を行政が実施し、生活習慣改善を支援

* 生活習慣病予防及び重症化予防を目的として慢性腎臓病検討会を実施

5 受診率向上に向けての取り組み

(1) 対象者への働きかけ

①個別通知、受診率向上のための電話勧奨及びハガキ送付

②出前講演、健康づくり推進員・食生活改善推進員によるPR活動

(2) 広報活動

①市政だより ②市ホームページ ③回覧 ④パンフレット・ポスター等

(3) 他の事業との連携

①健康マイレージ事業 ②健康づくり事業との連携 ③イベント時PR

(4) 平成23年度の受診勧奨に向けての新たな取り組み

①実施医療機関名簿及び集団健診日程の冊子を特定健診受診券に同封

②未受診者に対して受診勧奨ハガキを年1回から年2回送付（予定）